

ひろしま^{こども}子供の^{みらい}未来みんな^{おうえん}で応援プラン

こども わかもの いけん
子供・若者の意見

フィードバック^{しりょう}資料

◆はじめに◆

広島県では、子供たちが、育った環境に関係なく、将来に夢や希望を持って成長できる社会を作るために、子供・若者の皆さんや、地域、社会の人と協力して取り組むことを書いた「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」を作りました。

このプランを作るときには、子供や若者の皆さんへ、広島県の子供に関する取組で特に力を入れてほしいことについてアンケートを行い、たくさんの意見をもらいました。

この資料では、もらった意見が、このプランにどう書かれているかを紹介しています。

◆アンケートの方法◆

下記のテーマから、特に力を入れてほしいことを選んでもらい、なぜそう思うかなど、関連する意見を聞きました。

期間	令和5年6月～12月
対象	小学5年生、中学2年生、高校生、大学生など
テーマ	・0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実 ・小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける ・妊娠期からの子育て家庭への支援の充実 ・家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実 ・子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備 ・子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保 ・児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止 ・家族と暮らすことのできない子供への支援 ・ひとり親の子供やその家族への支援 ・障害のある子供やその家族への支援 ・子供・若者の社会参画の支援、就労支援

◆この資料の読み方◆

- この資料では、もらった意見をプランで取り組む 11個の分野に分類し、それぞれの分野に関するもらった意見の内容と、それがプランの中でどのように書かれているかを紹介しています。
- 「もらった意見」は、皆さんからいただいた意見をそのままのせるのではなく、意見をカテゴリ分けし、似ている意見はまとめたうえで、主な意見をのせています。
- 「プランへの反映」には、もらった意見に関係する取組について、プランの中でどのように書かれているかを記載しています。
なお、ここでは、プランの内容を分かりやすく、やさしい表現で書いた【やさしい版】にどのように書かれているかを紹介しています。

「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」の内容が知りたい人は、こちら

・プラン本編（QR コード）



・プラン【やさしい版】（QR コード）



1 0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育のこと

もらった意見（主なもの）

【保育環境について】

- 保育園や託児所などで、子供や赤ちゃんが亡くなるというニュースが増えている。
- 保育園や幼稚園での体罰が目立っているから、もっと子供にストレスを与えない状態にしてほしい。先生に悩みごとがないかなど聞いてほしい。

【教育について】

- 教育が充実していれば将来に不安を持つことが少なくなると思うし将来にも良い影響が出ると思う。
- 乳幼児期に脳や神経系、体が著しく発達する時期であるため、そのころの運動や勉強の機会を増やしたり、家庭環境を整えたりすることが大切だと思う。
- 保育園に行っていた頃に自然とふれ合う機会が多く、いい経験になったと思う。

プランへの反映（書いてある場所）

- 子供たちが安心して、体を動かしたり、楽しく遊んだりできるよう、幼稚園や保育所などの先生たちを応援します。（P4）
- 子供たちが幼稚園や保育所などで「遊び」を通して学んだことを、小学校に入ってしっかり発揮できるようにします。（P4）
- 保護者が、子供には「遊び」が大切と分かった上で、一緒に楽しく遊ぶ機会をたくさん作るようにします。（P4）

2 将来社会で活躍するために必要な力をつけること

もらった意見（主なもの）

【教育について】

- 社会に出て必要な知識をもっと学びたい（税金や保険などお金のこと、社会の制度など）
- 学校の勉強以外の、企業の出前授業や投資や株などお金にまつわる授業などをしてほしい。
- コミュニケーション能力や、書類を書く・読む力や、思考力をつける教育があってほしい。
- 得意なものがとことん得意な子供を増やしてほしい。自分の興味がある分野を詳しく学べる時間を作してほしい。
- 海外で活躍したい。
- ICTをもっと活用してほしい。パソコンやプログラミングを学びたい。
- 基礎学力の定着が大切だと思う。
- 中学校や高校卒業後に就職する人の支援もしてほしい。

【不登校について】

- 不登校の防止策や改善策が必要だと思う。

プランへの反映（書いてある場所）

- 子供たちが、小・中・高等学校などで、それぞれの興味のある分野について、自分で目標や方法を決めて学び、問題を解決し、新しいものを生み出す力をつけるための教育を進めます。（P4）
- 海外留学を支援するなど、いろいろな国の文化や考え方について学ぶ機会をつくりまします。（P4）
- いじめなど、子供たちが抱える悩みを相談しやすい環境や、いろいろな理由で学校に行くことができていない子供が、より身近で、安心して勉強できる居場所を作っていきます。（P4）
- 子供たちが自分の将来を考え、夢や目標を叶えるための力を身につけられるよう、地域や企業と協力して、体験活動などに取り組みます。（P4）

3 仕事や結婚、妊娠・出産の希望を叶えること

もらった意見（主なもの）

- 子育てにお金がかかるからという理由で子供を持ちたくない人が多くいるので、無料サービスを設けたりして子育て支援をした方がいい。
- 子供が欲しいが金銭面で諦める人が減ってほしい。



プランへの反映（書いてある場所）

- 「子育てにはお金がかかる」という理由で子育てに不安を感じている人がいるため、くにひろしまけんおこなこそだしえんせいどしょうかい国や広島県で行っている子育ての支援制度について紹介します。
また、若者が自分のやりたい仕事を見つけて働けるよう支援したり、働きながら子育てしやすい会社を増やして、ずっと仕事を続けられるようにしたりします。（P6）
- 子供や子育てしている人が助かるサービスをしているお店を増やしたり、小さな子供を育てる人が、家以外で子供と一緒に遊べる場所を増やしたりするなど、地域や社会のひときょうりよくこそだとくの人と協力して子育てのサポートに取り組めます。（P8）

4 ^{にんしんちゅう} 妊娠 ^{こそだ} 中 からの子育てのサポート

^{いけん おも} もらった意見 (主なもの)

^{こそだ しえん} 【子育て支援について】

- ^{こそだ} 子育てについて ^{そうだん} 相談できる ^{ばしょ} 場所を知らない、^み 見たことがない。
- オンラインでも ^{きがる} 気軽に ^{そうだん} 相談できるイベントがあると ^よ 良い。
- ^{こども} 子供を持つことに ^{あんしんかん} 安心感をもたせると、^{ふあん} 不安や ^へ ストレスが減って ^{らく} 楽になる。
- ^{にんしん} 妊娠期からの ^{しえん} 支援をすることで、^{おや} 親の ^{ふたん} 負担が減って、^{にゅうようじ} 乳幼児の ^{ぎやくたい} 虐待や ^{しぼう} 死亡が減ってほしい。

^{じぶん からだ けんこう} 【自分の体や健康について】

- ^{にんしん} 妊娠の ^{かてい} 過程や ^{せいり} 生理のことについて、^{だんじょかんけい} 男女関係なく ^{じゅうばん} 十分な ^{ちしき} 知識を得て、^{よき} 予期せぬ ^{にんしん} 妊娠の ^{よぼう} 予防や、^{せいり} 生理への ^{りかい} 理解を ^{ひろ} 広げてほしい。

^{いりよう} 【医療について】

- ^{さんふ} 産婦人科が減ると、^{じぶん} 自分や ^{まわ} 周りが ^{こども} 子供を ^う 産むときに ^{こま} 困る。

^{はんえい か} プランへの反映 (書いてある場所)

- ^{こそだ} 子育てについて、いつでも ^{きがる} 気軽に ^{そうだん} 相談できる ^{ばしょ} 場所や ^{しく} 仕組みをつくれます。(P6)
- ^{こども} 子供たちが ^{けんこう} 健康に暮らし、^く 将来、^{しょうらい} 妊娠や ^{にんしん} 出産などのそれぞれの ^{しゅっさん} 希望を ^{きぼう} 叶えられるよう、^{じぶん} 自分の ^{からだ} 体のことや、^{あか} 赤ちゃんが ^う 生まれるまでのことなど、^{にんしん} 妊娠・^{しゅっさん} 出産についての ^{ただ} 正しい ^{じょうほう} 情報が ^{まな} 学べるようにします。(P6)
- ^{にんしんちゅう} 妊娠中の人や、^{ひと} 子供を ^{こども} 産んだばかりの人、^{ひと} 子供たちが、^{こども} 病気になる ^{びょうき} 時に ^{とき} 安心して ^{あんしん} 治療が ^{ちりょう} 受けられる ^う 体制を ^{たいせい} 整えます。(P6)

5 子供たちの悩みの解決や居場所づくり

もらった意見（主なもの）

【悩み事について】

- 相談窓口などに電話したくない。一人で過ごせる場所が欲しい。
- つらいことや嫌なことがあっても一人で我慢するのではなく、人とふれあったり支えあったりして、いろんな価値観や手段を知ることができる場所が必要。

【家や学校以外の居場所について】

- 家や学校に居場所や安心して過ごせる場所がない子供たちに、別の安らげる場所を作ってほしい。
- ただ行くだけではなく、楽しいイベントやプログラムがあると良い。
- 土日や平日の放課後など、子供だけで安心して遊びに行ける場所があると良い。
- 家で勉強できない人が、勉強ができる施設が増えてほしい。

【ヤングケアラーについて】

- ヤングケアラーなどは、友達に相談できずに一人で悩んで追い詰められたり、適切な支援がされなかったというニュースを見たことがあるので、相談したときに対応できるようにしてほしい。

【ひきこもり支援について】

- ひきこもり・ニートのために働くきっかけを作るべき。

プランへの反映（書いてある場所）

- 子供たちが、自分にとって身近な相談先にいつでも相談できたり、家や学校以外に安心して過ごせる居場所を持てたりして、悩みや不安を一人で抱えず、必要なサポートを受けられる仕組みを作ります。（P7）
- 家から出られないなどの理由で、働きたくても働けていない若者が、仕事を見つけ、社会に出られるようサポートします。（P7）
- ヤングケアラーが、周りに助けを求めやすくなるよう、子供たち自身や周りの大人にヤングケアラーについて知ってもらえるよう取り組みます。
また、ヤングケアラーを支援するいろいろな機関が協力して、ヤングケアラーの子供やその家族の生活をサポートします。（P7）

6 それぞれの働き方や生活に合わせて子育てできる社会にすること

もらった意見（主なもの）

【仕事と子育ての両立について】

- 男性の育児休業取得率が低い。男性女性関係なく職場環境を整えた方がよい。
- 会社に行かなくても自宅で働ける環境をもっと作るべきだと思う。
- 妊娠中や子育て中などの事情を会社が受け入れやすいよう、意識を改善する必要がある。
- 親が共働きで大変そうで、クラブや学校のことを頼みにくいと感じる。

【親が働いている子供の居場所について】

- 忙しくて子供の面倒を見られない時、安心して預けられるところがあれば、みんなが安心して暮らせる。
- 待機児童がなくなるようにしてほしい。
- 朝早くから夜遅くまで預かってくれる保育園を増やしてほしい。
- 放課後児童クラブに入りたい人が入れるようにしてほしい。
- 放課後児童クラブが狭く、落ち着いて勉強することができない。

【共育について】

- 妻だけが育児に追われて、夫が自由にしている家庭がある。

プランへの反映（書いてある場所）

- 子育てのための休みをとりやすくしたり、会社に行かず家で仕事ができたり、働く時間や場所を自分で選べたりするなど、子育てしながら働きやすい仕組みづくりをする会社を増やします。（P8）
- いつでも子供を安心して保育所などに預けられるようにします。また、子供たちを見守る保育士の先生が働きやすい職場にします。（P8）
- 親が働いている子供たちが、放課後に安心して過ごすことができるよう、放課後児童クラブを増やします。（P8）
- お母さんだけやお父さんだけが家事、子育てをするのではなく、家庭の状況に応じ、家族が協力して家事、子育てをすることができる社会にしていきます。（P8）

7 子供と子育てにやさしく安全なまちづくりのこと

もらった意見（主なもの）

【子育てにやさしいまちづくりについて】

- 子供が欲しいと思えるような環境づくりや、子供を産むことのすばさを認めてもらえる社会づくりが必要。
- 少しでも楽に子育てができる環境になると良い。
- いろいろなところにミルクやご飯を食べられるところ、おむつが換えられるところなどがあると良い。
- 子連れで訪れやすい場所や、飲食店などで親にも赤ちゃんにもやさしい施設をつくったら良い。
- 小さい子供同士で触れ合ったり、子供たちが行きやすく安心して遊べる場所がたくさんあると良い。
- バリアフリー化して便利になれば子供を産む人も増えるかもしれない。
- 厳しい環境で育ったら人と関わることを避けてしまうかもしれない。

【安全なまちづくりについて】

- もっと交通安全の教育に力を入れるべき。
- 迷子の時、水難事故、交通事故など、生きるための力を育ててほしい。
- 子供たちが犯罪にあわない・犯罪をしないための教育を増やしてほしい。

プランへの反映（書いてある場所）

- 子供や若者、子育てする人を社会全体で応援する雰囲気をつくれます。
子供や子育てしている人が助かるサービスをしているお店を増やしたり、小さな子供を育てる人が、家以外で子供と一緒に遊べる場所を増やしたりするなど、地域や社会のひとと協力して子育てのサポートに取り組みます。（P8）
- 子供のいる家庭が生活しやすい家を見つけるサポートをしたり、子供やベビーカーでも乗りやすい、床が低いバスや電車を増やしたりするなど、子供と子育てしている人が暮らしやすい街づくりを進めます。（P8）
- 家庭、学校、地域が連携して、子供たちを犯罪から守ります。
また、SNSなどにより子供たちがさまざまなトラブルや犯罪に巻き込まれないようにする教育を進めます。（P8）
- 正しい交通ルールや自転車の安全な乗り方などを学べる教育を進めます。（P8）

8 子供たちを虐待から守ること

もらった意見（主なもの）

- 虐待を受けている子供が大人になった時、子供に対して虐待をしてしまうかもしれない。この負の連鎖を止めないといけない。
- 虐待を受けている子供は自分から相談することができないので、周りの人がどれだけ気にかけてあげられるか次第だと思う。
- 命にかかわることは他の人に言いづらいから、すぐ言える環境にしてほしい。
- もっといろいろな視点から見て、SOSを出せない子に気づいてほしい。
- 親も苦しい思いをしているはずだから、親も子供も守る義務があると思う。

プランへの反映（書いてある場所）

- 虐待が子供に与える悪い影響や、子供の心や体を傷つけない子育ての仕方について、広く発信し、虐待を防げるよう取り組みます。（P9）
- 子供を虐待から守るため、虐待について広く県民に知ってもらい、周りの人が虐待に気づいたときにすぐに相談窓口につながってもらえるよう取り組みます。（P9）
- 虐待が発見されたときには、県と市町が協力して、ふたたび虐待が起こらないよう、虐待のあった家庭を支援します。親子が離れて暮らすことが必要な時には、虐待を受けている子供を保護します。（P9）

9 かぞく くらす ことができない 子供のこと

もらった意見（主なもの）

- おや 親がいない子供たちが安心してできるところがたくさんあると良い。
- かぞく 家族と暮らせない子供は、かな 悲しい思いをしても相談できる人がいないかもしれないから、ささ 支えてほしい。メンタルケア等の支援があると良い。
- かぞく 家族と暮らすことができなくても、さべつ 差別やいじめにあわず、ふじゆう 不自由のない生活をしてほしい。
- かぞく 家族がいなくても、「家族だ」と思える人がいてほしい。
- かぞく 家族と暮らしているのと同じような環境が少しでもあると良い。
- さとおや 里親やファミリーホームで生活できると、すこ 少しでも楽しく暮らせると思う。
- しせつ 施設の管理がよくないと聞いたことがあるので、きちんと支援してほしい。
- しせつ 施設などで育っても、しょうらい 将来のことにふあん 不安を感じないようにしてほしい。

プランへの反映（書いてある場所）

- りゆう いろいろな理由で家族と一緒に暮らすことができない子供が、かてい 家庭と同じようなかんきょう 環境で暮らせるよう、そういった子供を預かって育てることできる「里親」を増やします。
また、さとおや 里親と子供が安心して暮らせるようサポートします。（P9）
- う 生まれた家庭や里親と暮らすことができない子供は、かぎ できる限り家庭に近い環境の、しょうにんずう 少人数の施設で暮らせるようにします。
また、しせつ 施設で暮らしているしょうがい 障害のある子供や、ぎゃくたいけいけん 虐待経験のある子供など、とくべつ ケアを必要とする子供の暮らしをサポートします。（P9）
- こども おや 子供が親から離れて里親や施設で暮らすときには、こどもじしん 子供自身が自分の希望や意見をおとな 大人にしっかりと伝えられるようにします。
また、いけん 意見を大切に、その子にあった支援をかんが 考えます。
- しせつ 施設を出た子供が、自分の希望に応じて学校に通ったり、はたら 働いたりできるなど、しょうらい それぞれの将来にふあん 不安なく生活できるよう、いしょ 入所中から施設を出た後まで、こども 子供をサポートします。（P9）

10 ひとり親のおや、こども、かぞくの子供やその家族のこと

もらった意見（主なもの）

- ひとり親は子育てと仕事の両立が難しく、時間がなくて支援が必要だと思う。
- ひとり親は経済的にも精神的にも大変なので、普通の家庭のようにできないことがある。
- ひとり親の子供が夢をあきらめることがないようにしてほしい。
- 親が両方いる家庭と差が生まれてはいけな。
- 夜遅くまで仕事をしていて、子供がさみしい思いをしている。学校行事にもっと来てほしい。
- ひとり親の子供は、家のことや兄弟の世話をしないと行けないことがあり、大変。勉強も自分でしないといけな。

プランへの反映（書いてある場所）

- 希望する仕事につけたり、必要な収入が得られたりするように、お母さんやお父さんをサポートします。（P10）
- ひとり親の子供が、将来の夢や目標をあきらめることがないように、学習ができる環境を作ったり、学びに必要なお金のサポートをしたりします。（P10）
- 子育てのための休みをとりやすくしたり、会社に行かず家で仕事ができたり、働く時間や場所を自分で選べたりするなど、子育てしながら働きやすい仕組みづくりをする会社を増やします。（P8）

11 障害のある子供とその家族のこと

もらった意見（主なもの）

- 障害のある子供の短期入所サービスや手当を増やしてほしい。放課後デイサービスの利用日数の上限を撤廃してほしい。
- 障害のある人が福祉サービスや医療を簡単に受けられるようにした方がよい。
- 施設の増設や専門的な知識のある職員の養成が必要。
- 街と過疎地域の対応に差があると感じる。
- 障害がある子供を支える家族も大変だと思う。
- 学校を卒業してからも、障害がある人の自立を支援してほしい。

プランへの反映（書いてある場所）

- 生活にいつでも医療が必要な子供（医療的ケア児といいます）が、家族とともに安心して暮らせるよう、医療的ケア児のお世話ができる人や施設を増やすなど、医療的ケア児を支える家族の負担を減らします。（P10）
- 発達障害がある子供一人ひとりが、それぞれの状態や希望にあったサポートをできるだけ早くから受けられるよう取り組みます。（P10）
- 障害のある子供たちが、学校生活の中でやりたい仕事や目標を見つけ、学校を卒業した後にそれが叶えられるよう、働く力を高めたり、将来について考えたりする学習の機会をつくります。（P10）

※プランに書かれていない意見について

今回もらった意見のなかには、関係する取組がプランに書かれていない意見もありますが、書かれていない理由や考え方について紹介します。

もらった意見（主なもの）	書かれていない理由・考え方
【校則について】 ○ あまり厳しい校則はよくない。 ○ 制服を自由化してほしい。	校則は、児童生徒の皆さんが、学校生活を安全で安心して、気持ちよく過ごすことや、勉強に集中しやすい環境を作るなど、より良い学校生活を送るために学校ごとに定めているルールです。 児童生徒の皆さんには、この校則が「何のためにあるのか」を考えることや、より充実した学校生活を送るために大切にしたいことなどを児童生徒の皆さんや先生方と一緒に考えてみてもらいたいと思っています。 このプランには書かれていませんが、児童生徒の皆さんが大切にされているということを感じること、学校や教室へ通いたいと思い、学校が心の居場所となることを大切にしながら、皆さんの意見を踏まえて議論を深めていきます。
【遊び場について】 ○ 公園がなく遊ぶ場所が欲しい。 ○ ボール遊びなど、いろいろな遊びができる場所がほしい。 ○ 安全に遊ぶ場所を増やしてほしい。 ○ 地域の人と楽しく交流できる場が増えるといい。	プランでは、子供が安心して過ごせる「居場所」について、子供や若者がどんな場所を居場所としているかなどを調べて、たくさんの居場所を作っていくことを書いています。 子供たちが安心して安全に遊んだり交流できる場所については、公園を含めていろいろな形が考えられるので、関係する人たちとも情報共有を行いながら考えていきます。

もらった意見（主なもの）	書かれていない理由・考え方
【障害のある人への理解等について】 ○ 障害があってもなくても平等に暮らせる社会にしたい。 ○ 自然に違いを受け入れる世の中になってほしい。 ○ 発達障害に対する知識や理解が追い付いていないと感じる。ハンデを持つ人を知る機会をもっと増やしてほしい。 ○ 信号機の音や、歩道の点字ブロックがないところがある。	このプランには書かれていませんが、「広島県障害者プラン」の中で、障害への理解を深めることや権利を守ること、安全に暮らすためのことについて書いており、関係する取組を進めていきます。